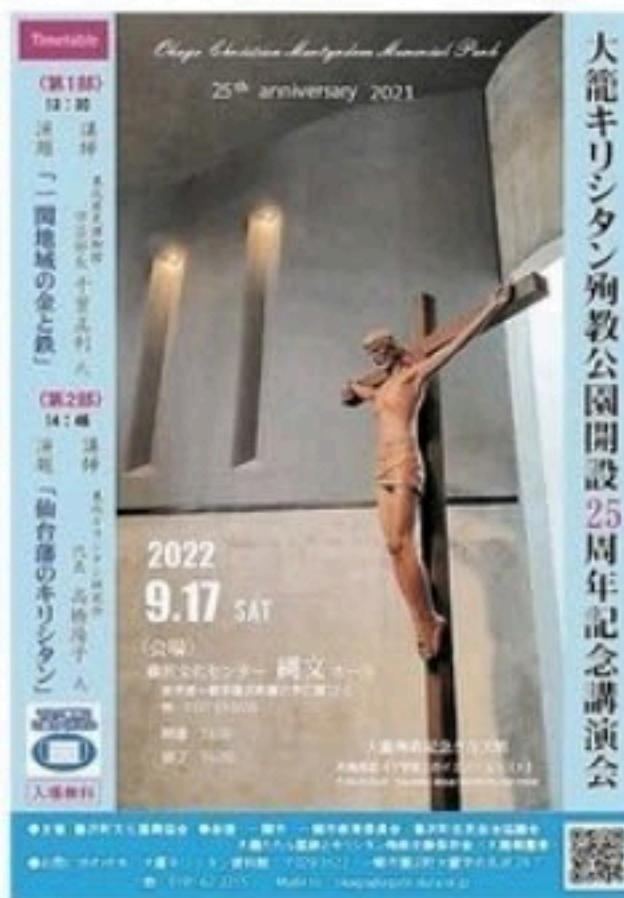


# 仙台藩のキリストン史 繼承 17日、一関で慰霊祭



開設25周年記念講演会のチラシ

一関市藤沢町の大籠キリスト像などを安置するクルス館がオープンした。慰霊祭は、潜伏キリストンを檀家として受け入れ、擁護した長徳寺がで慰霊祭と講演会が開かれる。

江戸幕府によりキリスト教が禁教とされた時代、同市藤沢町大籠地区で製鉄業を担っていた信徒300人が命を落としたと伝わる。

大籠・殉教公園整備25年を記念さんのが制作したキリスト像などを安置するクルス館がオープンした。慰霊祭は、潜伏キリストンを檀家として受け入れ、擁護した長徳寺が主催。同寺で午前10時から行う。

境内に建立した慰霊碑を除幕し、渋谷真之住職とカトリック水沢教会（奥州市）の高橋昌神父、石巻栄光教会（石巻市）の川上直哉牧師が宗教を超えて世界平和を願う祈りをささげる。無料。連絡先は長徳寺0191（63）3988。

講演会は藤沢町文化振興協会が主催し、藤沢文化センター繩文ホールで午後1～4時に開催。東北歴史博物館（多賀城市）の千葉正利学芸部長が「一関地域の金と鉄」、東北キリストン研究会（仙台市）の高橋陽子代表が「仙台藩のキリストン」と題し、それぞれ講演する。無料。連絡先は大籠キリストン資料館0191（62）2255。